

平成30年度 事業実施状況報告

はじめに

平成30年度は、6月開催の第69回定時総会において、監事1名を選任し新たな体制でスタートしました。

事業運営にあたり、「適正就業」と「PR活動」を二本柱として積極的に推進し、成果を挙げることができました。

適正就業の推進では、平成28年7月にスタートした労働者派遣事業を平成30年度も順調に伸ばすことができ、派遣事業の受注件数においては、29年度に続いて都内58のシルバー人材センターで1、2を争うほどの実績を残し、大きな成果となりました。

また、PR活動の推進では、全戸配布による派遣事業を含めた事業内容PRを年度内に2回実施するとともに、対外的な広報誌『シルバー知っ得！ガイド』を刊行して商工会会員1,125事業所に配布し、事業所へ事業内容の浸透も図りました。

このように、日野市シルバー人材センターは、地域社会に貢献する公益法人として、自主・自立、共働・共助の理念の下、積極的な社会奉仕活動等も含め、就業先の確保とさらなる会員増強を目指して事業を推進しました。

1 会員の状況

平成30年度末の会員数は、1,616人で前年度より9人（0.6ポイント）増加しました。年度末における会員数は、平成22年度から26年度まで4年連続して減少しましたが、27年度に増加に転じて以来、4年連続して増加しました。

年度内の労働者派遣事業を含む就業実人員は、1,358人で前年度より19人増加し、就業率は84.0%（前年度83.3%）となりました。就業実人員については、平成28年度から3年連続して1,300人を超えました。

表-1 男女別会員状況

	会員数	構成比	平均年齢	最高年齢	就業実人員	就業率
男	1,162人	71.9%	73.9歳	93歳	947人	81.5%
女	454人	28.1%	72.0歳	87歳	411人	90.5%
計	1,616人	100.0%	73.4歳	—	1,358人	84.0%

表-2 会員数、就業実人員の推移（派遣事業を含む）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
会員数（人）	1,616	1,607	1,591	1,535	1,521
就業実人員（人）	1,358	1,339	1,341	1,242	1,222
就業率（%）	84.0	83.3	84.3	80.9	80.3

表-3 月別入退会状況と会員数

(単位：人)

月別	入会者			退会者			会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月	25	15	40	2	2	4	1,172	471	1,643
5月	24	17	41	3	0	3	1,193	488	1,681
6月	4	4	8	17	8	25	1,180	484	1,664
7月	16	0	16	2	0	2	1,194	484	1,678
8月	14	14	28	7	6	13	1,201	492	1,693
9月	6	4	10	9	6	15	1,198	490	1,688
10月	19	10	29	11	5	16	1,206	495	1,701
11月	16	14	30	18	7	25	1,204	502	1,706
12月	7	4	11	10	6	16	1,201	500	1,701
1月	9	2	11	5	10	15	1,205	492	1,697
2月	4	4	8	17	9	26	1,192	487	1,679
3月	2	2	4	32	35	67	1,162	454	1,616
合計	146	90	236	133	94	227			

表-4 年齢別入会者状況

(単位：人)

	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	計	平均年齢
男	0	14	62	37	28	5	146	70.5歳
女	0	22	27	31	9	1	90	68.8歳
計	0	36	89	68	37	6	236	69.9歳

表-5 退会理由別会員数

(単位：人)

	病気	就職	死亡	転居	希望する仕事がない	就業機会なし	家庭の事情	会費未納	加齢	センター運営への不満	未回答(不明)	その他	合計
男	40	20	9	3	11	3	10	9	10	2	3	13	133
女	5	15	3	9	9	3	18	3	12	1	1	15	94
計	45	35	12	12	20	6	28	12	22	3	4	28	227

表-6 在籍期間会員数

(単位：人)

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上 6年未満	6年以上 8年未満	8年以上 10年未満	10年以上	合計
男	125	116	206	142	158	149	266	1,162
女	73	49	114	56	44	50	68	454
計	198	165	320	198	202	199	334	1,616

2 事業実績

平成30年度の労働者派遣事業を含む事業実績は、受託件数8,325件で前年度より158件（1.9ポイント）増加、契約金額は、665,928,712円で前年度より23,198,710円（3.6ポイント）増加しました。

具体的には、公共事業においては、市内公園清掃除草業務の受託箇所の減、全戸配布（選挙公報等）が減ったことなどにより、5,633千円（2.6ポイント）減少しました。

民間事業においては、派遣事業による乳幼児保育、訪問介護、幼稚園用務など新規に13件受注したことなどにより、26,988千円（9.4ポイント）増加しました。家庭からの仕事は、リビングサポート、植木、除草を中心に、5,081千円（4.5ポイント）増加しました。また、独自事業は、いきいきカルチャー教室やリサイクル事業が伸びなかったことから、3,237千円（11.9ポイント）減少しました。

次に、平成30年度における労働者派遣事業を含む契約金額の公民比率は、公共事業が210,013,036円で31.5%（前年度33.6%）、民間事業が455,915,676円で68.5%（前年度66.4%）となりました。なお、受注した仕事の分類別の内訳では、運搬・清掃・包装等に分類される職業（42.0%）、施設管理などサービスに分類される職業（25.0%）、小学校事務など事務的職業（15.0%）が上位になっています。

表-7 事業実績（派遣事業を含む）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	
就業実人員	1,358人	1,339人	1,341人	1,242人	1,222人	
就業率	84.0%	83.3%	84.3%	80.9%	80.3%	
就業延べ人員	148,030人	145,784人	148,846人	146,698人	135,121人	
受注件数	8,325件	8,167件	8,193件	7,979件	7,278件	
契約金額	配分金	526,688,874円	540,915,784円	581,006,664円	561,514,373円	523,154,518円
	材料費	21,451,296円	22,757,110円	22,490,911円	20,263,732円	18,926,293円
	事務費	45,794,100円	47,507,625円	49,861,663円	54,532,733円	48,155,933円
	合計	593,934,270円	611,180,519円	653,359,238円	636,310,838円	590,236,744円
	派遣事業	71,994,442円	31,549,483円	4,486,270円	—	—
	総合計	665,928,712円	642,730,002円	657,845,508円	636,310,838円	590,236,744円

表-8 契約金額／公共・民間別内訳（派遣事業を含む）

（単位：円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	
公共	210,013,036	215,646,299	220,941,909	197,194,631	201,757,536	
民間	企業等	313,487,913	286,500,062	293,587,846	292,952,054	247,747,559
	家庭	118,432,438	113,351,243	115,175,085	110,217,910	104,448,669
	独自	23,995,325	27,232,398	28,140,668	35,946,243	36,282,980
	小計	455,915,676	427,083,703	436,903,599	439,116,207	388,479,208
計	665,928,712	642,730,002	657,845,508	636,310,838	590,236,744	

表-9 契約金額／仕事の分類別内訳（派遣事業を含む）

（単位：円）

仕事の分類	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
専門的・技術的職業	9,100,126	9,837,238	9,813,656	19,940,456	21,094,407
事務的職業	99,618,238	91,591,727	89,161,623	88,449,592	84,818,656
販売の職業	9,245,422	6,208,017	2,799,389	684,260	1,059,966
サービスの職業	166,730,639	163,390,929	163,618,295	147,049,095	136,444,814
農林漁業の職業	66,379,496	60,548,623	61,095,688	47,279,153	41,624,690
生産工程の職業	35,173,851	33,014,114	52,326,998	57,918,514	50,403,311
建設・採掘の職業	252,694	380,753	503,855	1,137,178	1,564,757
運搬・清掃・包装等の職業	279,428,246	277,758,601	278,526,004	273,852,590	253,226,143
計	665,928,712	642,730,002	657,845,508	636,310,838	590,236,744

3 事業計画に対する実施状況

(1) 就業機会の拡大と提供

①既存事業の拡大

公共事業の就業拡大にあたっては、日野市と連携してセンターにおいて就業可能であるか検討しました。大きなポイントは、平成30年度より小学校事務補助業務が派遣事業に切り替わったこと、新たに日野市生活・保健センター管理業務が決まるなど着実に拡がりました。

②新規事業開拓への取組み

平成29年度から試行的に始動した買物代行サービスは、8月にサービス対象地域を市内全域に拡大し、全戸配布チラシで広告しました。しかしながら利用がほとんどなく、新たな需要を生み出すことも難しいとの判断により、中止することになりました。

派遣事業については、さらなる職種の拡大を課題と捉えて就業先開拓を行った結果、公共事業や製品製造、小売店での販売等に拡がりました。

③女性会員の就業機会の拡大

女性委員会と事業委員会において検討を重ね、女性会員の意向等を参考に、広報物等によるPR、子育て事業など女性会員の就業機会開拓・拡大について検討しました。結果として、労働者派遣事業においては、保育関連事業の深堀によって乳幼児保育、保育園用務、訪問介護補助などを新規開拓することができました。

また、日野市と協調してスタートした介護予防・日常生活支援総合事業も3年を経過し、29年度は9件の実績でしたが、30年度は7件で微減となりました。今後も研修等を重ねて要員の確保、サービスの充実を図って推進します。

④適正就業、人材派遣事業の推進

29年度に続いて、既存の契約のうち請負になじまないものを中心に、公共事業の契約4件、民間事業所の契約2件について検討した結果、30年度から派遣事業に1件

が移行、残りは仕様の変更等により対応するなど法令遵守に努めました。

平成28年7月にスタートした労働者派遣事業は3年目を迎え、積極的な就業先開拓と請負からの移行によって、従来の保育関連、スーパーマーケット、荷物仕分けの業務に市立小学校事務などを加え、のべ106件を受注。契約金額は71,994,442円となりました。

⑤高齢会員が就業できる仕事の開拓

平成30年度における会員の平均年齢は73.4歳（男性73.9歳、女性72.0歳）で、昨年より0.9歳上がりました。75歳以上の就業者は528人（うち、80歳以上160人）となっており、全就業者の4割を占めます。まさにセンターの中核を担っています。

高齢会員が得意とする事業分野として、学童保育や介護予防（生活支援）を考え就業開拓を行いました。特に、派遣事業において乳幼児保育や幼稚園用務などが新たに受注できましたが、介護予防は受注が微減するなど苦戦しました。

(2) 会員の増強

①会員増強対策

労働力人口の減少は、市場における高年齢者を含んだ労働力確保競争状態を招いており、センターにおける会員確保にも影響が出ています。入会会員を増やす対策として、2月と8月にセンターPRパンフレットの全戸配布、ホームページのリニューアル等を実施しましたが、29年度からは9名増となりました。

センターの今後の発展には、女性会員の増強が不可欠であることから、女性会員対象を軸に会員の減少防止にも努めました。女性会員の活動状況を紹介したり、各イベントへの参加呼びかけなどを中心に、『女性委員会だより』を3回発行して広く周知しました。

また、女性限定の入会案内説明会を3回（6月、9月、3月）開催し、合計42名が参加しました。説明会では女性会員による就業体験の発表や参加者をグループに分けて意見交換の場を設けるなど、センターの活動内容をイメージしやすく工夫し、入会促進を図りました。

このほか、趣向を凝らした市民向け講習会を次のように開催しました。

○ 布ぞうり講習会（7月）	参加者	23人
○ 布花コサージュ講習会（9月）	参加者	17人
○ ふわもコスリッパ講習会（2月）	参加者	20人

②入会者を増やす対策の強化

8月と2月には、カルチャー教室の受講生募集パンフレットに、会員募集や提供可能な事業等を掲載し、全戸に配布しました。

5月に開催した『シルバーいきいき祭り』は、813名の方々が来場。会員獲得と仕事内容のPRチラシを配布し、リサイクル事業を含めたセンター活動を広く紹介し

ました。また、10月のまちづくり市民フェアに参加し、手芸班の展示販売やチラシ配布による活動PRを行いました。

11月には、29年度に続いて日野市産業まつりに出展し、センター事業内容の宣伝と会員勧誘活動を行いました。広報媒体としてホームページについても、今後ますます重要となりますので、引き続き内容充実に努めます。

③会員交流促進と組織活動の強化

明るい雰囲気での就業の場、働きやすい環境を作りたいとの目的から、清掃グループの就業会員交流会を11月に開催。30人が参加しました。今後も小学校管理、自転車放置防止指導、公園管理などの交流会を行います。

女性会員の交流を深め、活動の活発化を図るための交流会は、11月に多摩平交流センターで開催し、19名が参加しました。日野警察署防犯係による「特殊詐欺被害対策」の講演、フリートークなど楽しい交流ができました。

会員情報紙「月刊さわやか」の充実として、センターの動きや就業の現状などを的確かつ分かりやすく届けるよう紙面改革に努めました。

④共助的組織の研究

28年度に会員交流会における効果等の検証を行いました。会員交流の発展形として互助会等を組織することは難しいため、今年度は麻雀サークルなど趣味を核とした仲間づくりを推進しました。

(3) 地域活動の充実

①社会奉仕活動の多様化

地域社会との共生を図るため、社会奉仕活動を積極的に展開しました。

小学校通学路見守りにおいては、交通安全に貢献したとして、新町班と栄町班が12月に日野警察署から表彰されました。

- | | | |
|--------------------------|-----|------|
| ・ 小学校通学路見守り（4月～3月） | 参加者 | 822人 |
| ・ 市立小、中学校あいさつ運動（奇数月 年6回） | 参加者 | 359人 |
| ・ 東京マラソン祭りボランティア（3月） | 参加者 | 6人 |

②市内美化運動

公益法人の大きな役割として、市内美化のための清掃を実施しました。

- | | | |
|-------------------|-----|------|
| ・ 全地域班一斉清掃（7月） | 参加者 | 566人 |
| ・ 全地域班一斉清掃（10月） | 参加者 | 594人 |
| ・ 公共施設周辺清掃（5月～3月） | 参加者 | 40人 |

③地域班の活性化

地域班会議の内容充実を図り、7月から8月にかけて開催する前期の班会議では、

平成29年度の事業報告などを中心に、12月から1月にかけて開催する後期の班会議では、就業選考基準の新運用などについて話し合いました。

・地域班会議出席状況	前期（7月～8月）	参加者	578人
	後期（12月～1月）	参加者	638人

(4) 安全就業

①事故発生件数を減らすための取組み

会員の就業において、安全はすべてに優先します。29年度は14件（傷害7件、賠償7件）だった事故発生件数の減少を目標に掲げ、活動計画を策定しました。

就業現場安全巡回として、7月の安全就業強化月間に11職場、11月から2月までに11職場の合計22職場を訪問しました。安全管理委員が2名体制で細かなチェックを行い、安全就業基準による就業の点検と指導等を行いました。

東京しごと財団によると、都内58センターで発生する傷害事故のうち、約45%が転倒による事故です。この転倒事故を予防する対策として、職場グループのリーダーと職群班長を対象に「安全就業研修」を6月に開催し、66名が参加しました。

安全標語については、11月に「作業方法・手順の確認とルールの順守徹底」、「転倒防止」をテーマとして募集しました。合計27点の応募があり、最優秀作1点と優秀作5点を選定して広報誌への掲載等を通じて安全啓発に努めました。

また、安全就業基準自己チェックの実施として、『安全就業10か条』の励行状況をチェック表に基づいて自己診断し、安全就業への意識を高めました。

その結果、今年度は5件（傷害5件、賠償0件）の事故発生件数に抑えることができました。しかも、賠償責任事故を1件も起こさなかったことは画期的なことであり、今後も安全就業に努めます。

②交通安全対策

現在、わが国で多発している高齢者による交通事故を重く捉え、日野警察署による交通安全講習を次のように開催しました。

○自動車安全講習会（4月）	参加者	13人
○自転車安全講習会（5月）	参加者	25人

また、6月の定時総会において『高齢者の交通安全』をテーマに、日野警察署による講習会を開催しました。併せて事務局掲示板には、警視庁からの高齢者の交通事故情報を更新しながら通年で掲示し、注意を喚起しました。

就業期限確認書を交付する職場に新たに就業する場合には、年3回（6月、9月、12月）安全管理委員長による安全講話を行い、交通安全も含めた就業における事故の未然防止と意識向上に努めました。

③安全意識の醸成

27年度に転倒によって骨折に至る事故が5件発生した事実を受け、29年度に引き続

いて職場や職群班からの推薦者を対象とした「体力測定会」を9月に実施し、67名が参加しました。現状の柔軟性や筋力などを自覚することで、事故の未然防止に繋げるための活動として、次年度以降も継続して実施します。

健康診断受診等に関する情報については、月刊さわやかなの誌面による呼びかけを行いました。

[各委員会の取り組み]

○総務委員会

- ・会員アンケート集計結果の内容分析と実施については、テーマが大きくかつ各委員会の取組みにも含まれており、次年度で継続することになりました。
- ・就業選考の見直し及び民間職場の就業期限導入の検討については、ポイント制による就業選考の新運用方法を策定しました。民間職場への就業期限の導入は、平成31年度にその準備に入ります。
- ・新入会員研修、入会案内説明会においては、資料の説明等を担当し、規程・要綱等の整備は、表彰規程等の改定を行いました。

○事業委員会

- ・月次実績、就業応募状況の分析を行い、継続募集扱いとなった理由や就業募集伝達方法の改善等を検討しました。
- ・就業開拓員が中心となり、新規の就業先開拓に取り組みました。
- ・会員の所有する資格・技能・技術を活用した新規事業を検討しましたが、成果に至りませんでした。平成31年度も継続して取組みます。
- ・職群班事業の運営支援については、清掃グループにおける短期的な休業時の際に、グループ内でサポートする体制を進めました。また、就業希望者に対する各職群の紹介ガイドブックを作成しました。
- ・明るい雰囲気のある就業の場、働きやすい環境を作りたいとの要望から、小学校事務、公園管理、宿直業務等の就業会員交流会を開催しました。

○地域委員会

- ・40周年記念事業などを通じて、ブロックや地域班の活性化を図りました。
- ・地域班会議では、前期・後期ともに議題を設定し、周知または意見交換により内容の充実に努めました。
- ・スクールガードに関しては、学校ごとの取り組みになるため、情報を共有していきます。
- ・高齢者見守り支援については、月刊さわやかなでの呼びかけ、事例の紹介を行いました。

○女性委員会

- ・女性限定入会案内説明会を年度内に3回開催しました。

- ・女性委員会便りを年度内に3回発行しました。
- ・市民対象講習会として、「布ぞうり講習会」、「布花コサージュ講習会」、「手編みふわもこスリッパ講習会」を開催し、のべ54人が参加しました。
- ・女性会員交流会を11月に開催し、18人が参加しました。
- ・日野市健康交流事業として、日野市老人クラブ連合会とのコラボレーションにより、11月に「クリスマスリース作り」を主催しました。

○安全管理委員会

- ・自転車およびドライバー向けの安全に対する取組みとして、4月にドライバー講習会、5月に自転車講習会を開催しました。
- ・6月に危険予知講習会を安全対策推進員（職場リーダー）向けに開催しました。
- ・7、8月に作業機械等の取扱い講習会（チェーンソー）を実施しました。
- ・体力測定会を9月に実施しました。
- ・就業期限確認書を交付する会員向けに、安全講話を年度内に4回実施しました。
- ・就業現場の安全巡回を、前期（6～7月）、後期（12月～2月）と実施しました。

○広報委員会

- ・センターの存在を対外的に広くアピールするツールとして、6月に「シルバー知っ得！ガイド」を刊行しました。
- ・対外広報強化の一環として、10月に「まちづくり市民フェア」、11月に「日野市産業まつり」などに参加。資料配布等でPRしました。
- ・「月刊さわやか」を会員の情報紙と位置づけ、センターの動きや就業の現状などを的確かつ分かりやすく届けるよう紙面改革に努めました。

4 会議等の開催状況

定時総会

開催年月日	主な内容
第69回 平成30年6月20日（水） 七生公会堂 ホール 会員数 1,687名 出席数 1,218名 （委任状 941、議決権行使書 による書面決議 5を含む）	1. 平成29年4月1日から平成30年3月31日までの計算書類等の承認 2. 監事1名の選任

理事会の主な内容

開催年月日	主な内容
第1回 平成30年4月23日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 平成29年度における代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 3. 事業実施状況報告
第2回 平成30年5月21日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 平成29年度事業報告及び決算 3. 委員会設置規程の一部改正 4. 諸規程等の整備 5. 平成30年（第69回）定時総会招集の決定 6. 監事1名の選出 7. 被表彰者の推薦 8. 事業実施状況報告
第3回 平成30年6月25日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 就業調整委員会設置規程の一部改正 3. 第6次中期計画 4. 事業実施状況報告
第4回 平成30年7月30日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 事業実施状況報告
第5回 平成30年8月27日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 3. 事業実施状況報告
第6回 平成30年9月25日（火）	1. 正会員の入会承認 2. 就業選考の新運用方法 3. 事業実施状況報告
第7回 平成30年10月29日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 理事及び監事推薦委員会の設置 3. 事業実施状況等報告
第8回 平成30年11月26日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 事業実施状況等報告
第9回 平成30年12月25日（火）	1. 正会員の入会承認 2. 役員等費用弁償の一部改正 3. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 4. 事業実施状況等報告
第10回 平成31年1月28日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 会員表彰における顕著な功労に係る取扱要綱の制定 3. 平成30年度予算の補正（第1号） 4. 事業実施状況等報告

理事会の主な内容

開催年月日	主な内容
第11回 平成31年2月25日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 理事及び監事推薦委員の変更 3. 正規職員就業規則の一部改正 4. 準職員就業規則の一部改正 5. 事務費規程の一部改正 6. 就業調整方法について 7. 後援等名義使用の許可について 8. 事業実施状況等報告
第12回 平成31年3月25日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 平成31年度事業計画 3. 平成31年度収支予算 4. 資金調達及び設備投資の見込み 5. 事業実施状況等報告

5 事故の発生状況

年度別事故発生件数

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
傷害事故	5	7	5	9	11
賠償事故	0	7	3	3	2
計	5	14	8	12	13

傷害事故

発生日	就業中・途上別	性別	事故の状況	程度
6月19日	経路途中	男	就業現場から自転車で帰宅途中、具合が悪くなって動けなくなり病院に救急搬送された。熱中症	通院
7月9日	就業中	男	除草作業中、手にした蔓が滑って転倒して後頭部を強打、出血	通院
10月12日	経路途中	女	就業場所から自宅に帰る途中、路上のマンホールの段差につまづき、転倒。額と口内を負傷	通院
10月28日	就業中	男	小学校の通用門を施錠する際に、鉄板と門の間に左手小指を挟んだ。裂傷	通院
2月13日	就業中	男	中学校の校舎内巡回中、階段を踏み外して転倒した際に、地面で頭部を強打して負傷	通院